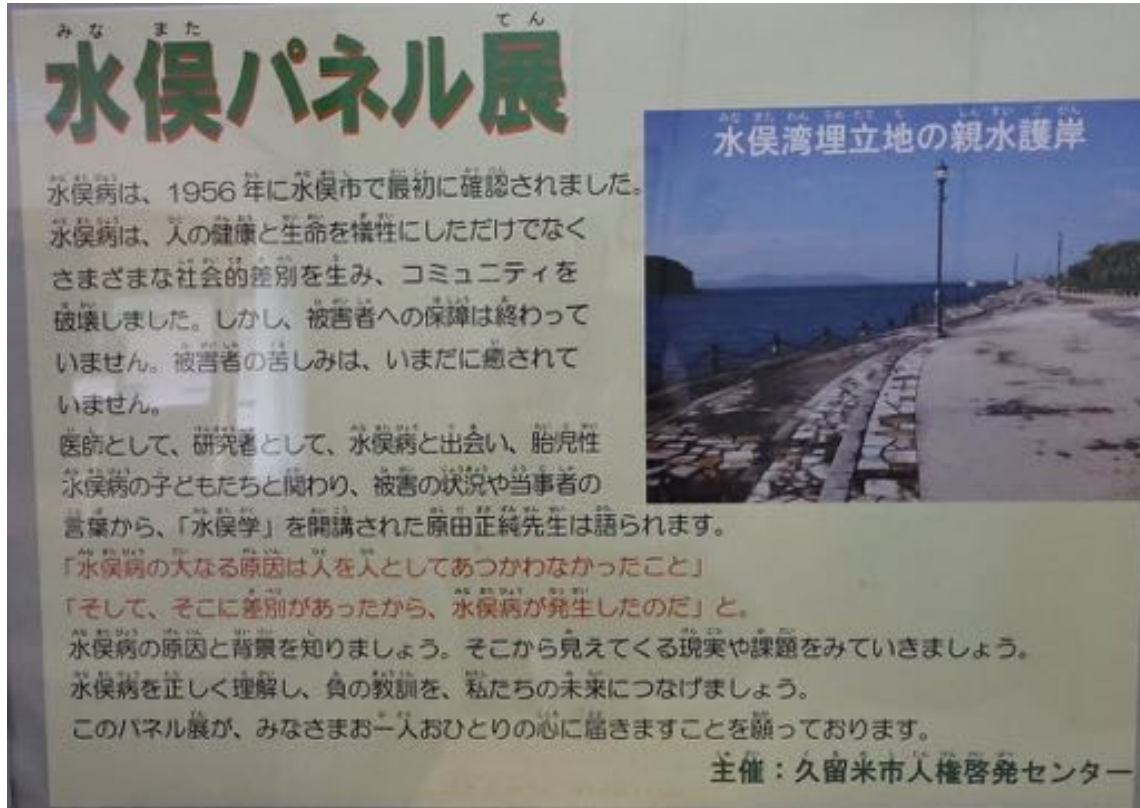


水俣病パネル展（水俣病の原因と背景）



みな また てん
水俣パネル展

水俣病は、1956年に水俣市で最初に確認されました。
水俣病は、人の健康と生命を犠牲にただけでなく
さまざまな社会的差別を生み、コミュニティを
破壊しました。しかし、被害者への保障は終わって
いません。被害者の苦しみは、いまだに癒されて
いません。

医師として、研究者として、水俣病と出会い、胎児性
水俣病の子どもたちと関わり、被害の状況や当事者の
言葉から、「水俣学」を開講された原田正純先生は語られます。

「水俣病の大なる原因は人を人としてあつかわなかったこと」
「そして、そこに差別があったから、水俣病が発生したのだ」と。

水俣病の原因と背景を知りましょう。そこから見えてくる現実や課題をみていきましょう。
水俣病を正しく理解し、負の教訓を、私たちの未来につなげましょう。

このパネル展が、みなさまお一人おひとりの心に届きますことを願っております。

主催：久留米市人権啓発センター

水俣病の原因と背景について説明、また、そこから見えてくる現実や課題を紹介

B2：27枚

1950年代、水俣湾周辺で感覚障害、運動機能障害、言語麻痺など原因不明の病気が発生。その原因が、水俣湾に流したチッソ工場排水が原因であることが分かりまし。工場側はなかなか非を認めず、被害は次第に拡大。また、当時の水俣市は、チッソの城下町と言われるほど、工場に対する依存が高く、市民と患者、家族との分断が続きました。日本の高度成長期に起きた「公害の原点」と言われるのが「水俣病」です。